

## 新庁舎建設の進め方を問う

答 議会や町民の意見を計画に生かす



益子輝夫議員

**質問** 消防庁舎の建設場所は都地区に決まった。建設は現在どこまで進行しているのか。

**答弁** 現在、南那須広域行政事務組合が、この事業の主体となり進めている。本年度分の用地測量、設計業務については終了し、今後はボーリング調査などを進めていくことになっている。また、用地買収に伴う法的手続きも進めている。地元住民への説明会も8月8日に実施し、ご理解を得たものと考えている。

**質問** 新庁舎は、議会特別委員会や山村開発センター敷地とすることになったが、今後どのように建設を進めていくのか。

**答弁** 庁舎整備の進め方に

については、議会はもちろん町政懇談会における貴重な意見や要望を踏まえ、基本計画や設計に反映させていく。

**質問** 庁舎建設の経過についてだが、町の検討委員会は17人選ばれて7回会議が開催された。4回から7回までは非公開、秘密会で進められた。そのためか、議会の代表は4人いるが、検討委員会で、どんなことを話し合われているのか、議会として何回も要望したが一度も報告がなかった。これは議会軽視であり問題である。

町長は、4期議員をやってきたから、よくお分かりだと思いが、執行部と議会の関係は、情報が議会に届かないと検討出来ないのではないか。

**答弁** 議会から参加した4人の方に、議会には報告するなどというような圧力をかけた覚えはない。これは、議会の問題であ

るので発言は控えたい。

**質問** 検討委員会は町の執行部が選んだ機関。議会は町民から選ばれた機関であって、議会が新たに検討した候補地をあげても問題ないはずである。

それなのに町は検討委員会で出したものを否定するのかと言った。これはおかしいと思うがいかがか。

**答弁** 検討委員会は、町の公募による委員、学識経験者、各種団体の代表で構成されており、答申は町として尊重すると申し上げた。

**質問** 副町長に何うが、議会が町民への説明会を開くように求めたのに対して、受け入れなかった。町民の声を町政に反映するという姿勢に欠けるのではないか。

**答弁** 町民説明会を開いてほしいという要請は、議員からはあったが議会としての要請は受けた記憶はない。検討委員会の結果が出たあと懇談会を開催して町民の意見を聞いている。

## 放射能汚染物の搬入は

搬入は

**質問** 県営処分場は中間処

理場をつくって、そこで処理されたものは、県内外を問わず、すべて馬頭処分場に埋め立てると知事は述べている。これについて町長の考えを伺う。

**答弁** 県内の中間処理場で処理された廃棄物は、基本的に受け入れると聞いている。

**質問** 産廃処分場への搬入路は、現状ではひばり幼稚園の前の道路を通らなければ運搬車が入れない。交通問題を含め安全対策を伺う。

**答弁** 搬入路については、最大限安全確保をはかるルートを選定を要望していく。



搬入ルートはひばり幼稚園の前を通るのか

**質問** 知事は福島原発事故で出た放射能汚染物も馬

頭処分場に入れることについて、否定するどころか、はつきりを入れるために町と話し合いをしていくと発言した。町長は、放射能廃棄物は絶対に処分場に入れないと言ってきたが現在の考えを伺う。

**答弁** 放射性物質に汚染された産業廃棄物については前から言っているとおり、受け入れる考えはない。ただし、放射能は自然界にも存在するので具体的な基準については県と協議する。

**質問** 今、中間処理場は県内ではどこに、何カ所あるのか。また、1日どのくらいの量で、ダンプで運ばれるとしたら何台ぐらいを想定しているのか。

**答弁** 平成23年度の統計によると、県内の中間処理施設は442カ所、自社処分を含めると461カ所となっている。前回の計画では、処分場ができて搬入するトラックは1日30台を想定している。

**質問** 下北沢の不法投棄物は、どんな形で中間処理を考えているのか。

**答弁** 下北沢に中間処理場をつくと聞いている。